

# いちょう通信

平成 26 年 4 月（第 7 号）

発行 社会福祉法人 八王子いちょうの会

〒193-0834 東京都八王子市東浅川町 666

TEL 042-673-8055 / FAX 042-673-8054



## 八王子いちょうの会 合同新年会

平成 26 年 1 月 11 日(土)海苑八王子店にて、八王子いちょうの会合同新年会が開催されました。

第一部は、いちょう工房 虹のハンドベルで始まり、八王子市長をはじめ、ご来賓の皆さまからのご挨拶やお祝いの言葉を頂きました。第二部は、いちょう工房 東浅川の利用者さんの乾杯で幕を開けました。

今年のゲーム大会は、じゃんけん大会を行いました。ゲームの内容は、最後まで勝ち残った方の席が用意された景品を総取りするという内容でした。また、恒例のカラオケ大会では、各事業所が 1 曲ずつ歌い、次に個人がリクエストし、最後に参加者全員で「世界で一つだけの花」を大合唱しました。皆さんの笑顔で帰って行く姿を見ていると、最高のスタートが切れたと実感しました。

## 25年度の振り返り そして26年度の抱負

理事長 崎田京子

日頃より、当法人へのご協力誠にありがとうございます。

昨年度は、社会福祉法人となって 2 年目と言う年であり、1 年目の時にはわからなかった（気づかなかった）より細かな部分への配慮が少しはできたのではないかと思います。研修などは、職員による職員のための研修、と言う事で進めました。2 回目の全体研修は、毎日新聞論説委員の野沢和弘氏による「障害の人にとっての幸せ」と題し、近隣福祉施設や地域住民の皆様もお誘いしました。これも社会福祉法人と言う社会資源としての一つの役割と思いました。他にも、各事業所職員会議等でミニ研修と称し、時には施設長が、時には外部研修に行った職員が講師役となり行いました。この他にも外部研修に参加の機会が多くあり、研修に関してはその「研修報告書」から見ても順調に進んでいると思います。あとはいかに実践に結びつけるか、が肝心となります。

「支援マニュアル」も一応の完成を見、各事業所での職員会議時には必ず携帯し臨んでもらっています。時に内容変更なども繰り返していきたいと思っています。

26 年度につきましては、次の新事業に関して準備会を発足する等、具体的に動き出す年になると思います。その際は皆様どうぞ関心をもって注視して頂けたら幸いです。また、今年度は職員の「気づき」を促す取組の一環として「自己チェック」を始めます。2 か月毎の職員会議時に実施し、各自で保存し前回の内容と比較したり、新たな気づきを認識するなど、継続的な実施により利用者さんの支援に役立て様と考えています。

また、一昨年度に実施し昨年度は実施していませんでした「週末余暇活動」については、担当者による企画・立案・実施をいたします。是非ご一緒に楽しい週末を過ごしましょう。それでは、本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### ■ いちよう工房 東浅川

施設長 吉村博之

25年度は、入所式から始まり、ポップコーンを販売した福祉祭り。たくさんの美味しいさくらんぼを食べた日帰り旅行。暑い夏のひと時の清涼のプール。事業所での健康診断。台風により中止になってしまった宿泊訓練。毎月練習してきた「よさこい」をいちよう祭りで元気に踊ったこと。職員バンド、サンタさん、おいしい料理のクリスマス会。最後に大雪。楽しかったこと、残念だったこと、25年度も振り返るといろいろな事があり思い出もたくさんできました。また、5名の新しい仲間が増え、みんなと楽しく過ごしています。今年度は、今までよりも皆さんの笑顔がたくさん増えるように、25年度の反省をいかしてみんなで頑張っていきます。

### ■ いちよう工房 みらい

施設長 鈴木洋子

いちよう工房みらいは生活介護と就労継続支援 B 型の多機能型事業所から生活介護のみの事業所に変更しました。事業変更した理由は利用者さんの高齢化と多様なサービスのニーズにありました。多機能型事業所の時は受注作業の袋作業の袋作りを主として絵画、陶芸、卓球、菓子作りをして活動してきました。活動内容の種類は多い事業所ですが更にアセスメントをし活動の選択肢を増やし健康面を考慮した体操（タオル体操、リフレッシュ体操）、プール活動も増やしより選択肢を拡げました。成人病予防の一助に繋がればと思います。今まで職員も利用者さんも受注作業以外に活動を拡げるには作業の調整が要求されますので難しい面がありました。受注作業で落ち着く方、他の活動を希望される方等、個別支援計画に基き充実した日中活動が提供できるよう職員もスキルを上げていきたいと思っています。

### ■ いちよう工房 虹

施設長 山西美知子

この1年振り返る余裕もなく毎日・毎月忙しく過ごして来ました。いちよう工房 虹は以前、袋作業中心でした。しかし、生活介護になった現在は、充実した余暇・創作活動が出来るようになりました。

例えば、長沼清掃に行けばその後は、あったかホールのリサイクル工房利用、又夏はプールを利用し、南大沢の公園清掃では近くのフードコートがあるショッピングセンターで食事や休憩・買い物等をして帰ってきます。

余暇活動として、平成18年から続けている。ハンドベル演奏の、ここ2,3年の上達には驚いています。一般の方にも聴いて頂きたいという気持ちも強くなってきました。去年は洗足音楽大学生・OBの方と「ミュージックバスケット」に参加させて頂き、とても良い経験になりました。今年度も新しい事に挑戦していければとみんな意欲満々です。

創作活動も最近は折り紙を習っておりそれを、自主製品の割りばしセットに生かしています。

グループ活動も今年の初詣は、築地本願寺と築地市場散策・歌舞伎座まで足を延ばしました。寿司を食べずに、ハンバーグを食べた方もいたようです。もう一組は、高幡不動に参って昼はグループに分かれて食べました。その後、電車で移動して新しくなった京王レールランドで楽しむことができました。

利用者さん、みんなが自分でやりたい事を自分で選べるようになっていきます。

社会福祉法人になって器ばかり大きくなりがちですが、主役は利用者さんです。どうすれば利用者さんが120%ハッピーになれるのでしょうか？利用者さんが楽しい毎日を過ごされる事こそ支援者の私たちの喜びに繋がると信じています。

### ■ いちよう工房 そら

施設長 大村直

そらの25年度1年間の変化としては、7月・1月・2月に各1名ずつ、計3名の利用者さんが新たな仲間となり、現在20名の利用登録数となっています。職員においても4月以来動きは無く、安定・安心した支援の提供に繋がっていると思います。

日々の生産活動に関しては、一昨年度以上に利用者さんが個々の持てる力を最大限に発揮して頑張ってくれた成果として、工賃が東京都の就労継続支援 B 型事業所の平均に限りなく近い金額となり、目標工賃達成加算Ⅱ型の適用を受けることができました。

今後も法人内唯一の就労継続支援 B 型単一事業所として、作業受注量の確保と工賃の上昇、そして何よりも利用者さんが毎日働き甲斐を感じられる事業所作りを、職員・利用者さんが一丸となった、そらという一つの「チーム」として取り組んでいきたいと思っています。3年目の更なる飛翔を目指して！！家庭で不要な本がありましたら、そらまでお知らせ下さい。利用者さんが元気に取りに伺います！

### ■ いちよう工房 ゆぎ

施設長 多田美和子

25年度は4月に2名の利用者さんを迎えました。1名は生活介護の方ですが、ポスティングが非常に上手になり、B型の利用者さんを抜く勢いに成長しました。

11月の秩父の宿泊訓練では何年か前からの希望であるSLについに乗ることができました。車掌さんもサーピスで警笛を長い事鳴らして頂き、利用者さん職員共々飛び上って喜びました。椎茸狩りも予想以上に利用者さんに気について頂き一生懸命1つ1つ取る姿が大変印象的でした。また天然温泉が気持ち良くいつもはお風呂に入らない利用者さんも露天風呂に長い事つかり、ゆっくりと楽しみました。

事業所では健康器具を取り入れたり、榮太郎の箱折りを始めました。また作業の余った時間に Jaxa やプラネタリウム他少し遠方への散策も加え楽しみました。「読み書きに遠ざかっている」との保護者の御指摘で個人に合わせて漢字やひらがなの書き取りや簡単な算数を行っています。これには当初考えた以上に利用者さんも楽しんで集中していらっしやるので今後少し計画を練って取り組んでいきたいと思っています。

25年度は厚生労働省の補助金で、工賃UPの研修が色々な場所で開催され職員が参加しました。ゆぎも自主製品で焼き菓子を作っていますが現在は職員の補助的な仕事がほとんどです。しかし少しずつ利用者さんが中心で職員はサポートにまわるようにしていきたいと思っています。

色々な事がありました皆さん健康に過ごされ大変良かったと思います。

### ■ いちよう工房 ぎんなん

施設長 守屋里香

ぎんなんの家では4月に新卒の利用者さんが1名入所し、仲間が増えました。また、今年度はボウリングや久しぶりに行う合同宿泊訓練の当番事業所となりました。

残念ながら宿泊当日は関東地方を台風が直撃する予報があり中止となりましたが、1か月後にぎんなんの家だけで同じ場所へ出かけました。秩父の山々は紅葉し、浦山ダムからの景色はまさに絶景でした。野生のサルを間近で見たり、楽焼の体験、シイタケ狩り、宿では美味しい食事を頂き楽しい時間を過ごすことができました。

また、今年度は大家さんから裏の畑をお借りし、野菜の栽培をしました。苗植えや暑い時期の草むしりなどは大変でしたが、草木染用の花やトマト、大根、シシトウなどを収穫し、保護者の方々に買って頂いたり、東浅川事業所で販売して頂くなどして工賃にすることができました。26年度はさらに色々な体験が出来るよう、皆で努力したいと思っています

## 各事業所の25年度を振り返って

### ■ ケアホーム「アイビー」、ショートステイ「ふ・ふ・ふ」

施設長 久松正史

ケアホーム「アイビー」、ショートステイ「ふ・ふ・ふ」ともに開設から丸1年たち、平成25年は始まりました。「アイビー」ではまだまだ利用者さん対応に手探りな面はありますが、職員が利用者さんの対応に慣れてきた面もあり、何とか運営は落ち着いてきました。

また利用者さん同志でコミュニケーションを取ることも増え、良い関係性が構築されてきています。大きな家族のような雰囲気も出てきていて、居心地の良いケアホームになりつつあります。

「ふ・ふ・ふ」でも徐々に利用者さんが増え、常連さんと言えるような利用者さんも出てきていますし、延べ60名を超えるような月もありました。

今後の課題として「アイビー」ではまだまだ日帰り旅行等の行事が少ないので、平成26年度は行事を増やすこと。「ふ・ふ・ふ」では利用者さん同士の相性等を考えたケアを提供していくようにしたいと思います。

### 理事就任挨拶

平成25年11月30日付で理事に就任させて頂きました。

八王子いちちょうの会の発展と利用者さんが安心して通える場所作りに努めて参りたいと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。

(守屋里香)

### ご寄附及び助成金の御礼

日頃より皆様には、八王子いちちょうの会に多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。お志に深く感謝申し上げます、平成25年6月1日より平成25年12月31日までにご寄附及び助成金をいただいた皆様のお名前を掲載させていただきます。平成26年、当法人は社会福祉法人としてスタートしてから3年目を迎えました。地域福祉の推進に貢献すべく、利用者さんへのさらなるサービスの向上を目指し、職員一丸となって努力してまいります。今後ともご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



### いちちょう工房 虹 洗面所改修(村内ファニチャーアクセス様)

(個人様)

小林晃様

(法人様)

昭和池田記念財団様 (収納ラック購入)

東京電力労働組合 多摩総支部 多摩支店支部様 (経常経費)

東京都共同募金会様 (送迎車購入)

村内ファニチャーアクセス様 (事業所洗面所改修工事)

遊技場組合様 (経常経費)

(五十音順に掲載)